

鹿児島県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	90点
問題構成	大問5題構成。漢字（行書の知識を含む）・論説文・古文・小説文・作文。 [1]は漢字（行書の知識）14点。漢字6問と行書の総画数の問題1問。大問の正答率は68.2% [2]は論説文26点。出典（「優しいコミュニケーション—『思いやり』の言語学」村田和代）。記述式は65字以内のものが1問。大問の正答率は58.9% [3]は古文18点。出典（『宝物集』）。記述式は15字以内のものが1問。大問の正答率は76.80% [4]は小説文23点。出典（『勿忘草をさがして』真紀涼介）。記述式は55字以内が1問と15字以内が1問、10字以内が1問。大問の正答率は49.4% [5]は作文9点。8行160字。鹿児島県における在留外国人が抱える課題を読み取り、課題に対して私たちができることを述べる問題が出題。大問の正答率は53.4%		

	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)
問題量（A4で）	10ページ分	10ページ分	7ページ分	7ページ分	7ページ分
小問数	26問	25問	26問	26問	26問
論述問題の数	6問	6問	6問	7問	6問
論述問題配点	34点	35点	33点	39点	35点
受験者平均点	54.9点	51.1点	57.8点	50.4点	55.1点

【出題の傾向と対策】

- ① [1]の漢字の知識に関して、行書における総画数や筆順、行書の特徴などを問う問題が出題されるため、行書においての点画の連続、省略といった書き方の確認が必要。

R6[1]

- 2 次の行書で書かれた漢字を楷書で書いたときの総画数を答えなさい。

正答率は85.2%であり、昨年同様に8割を超えた。
総画数の問題の場合は比較的に正答率が高い傾向にある。

泰

- ② [2]の論説文に関して、昨年度に続き、本文全体をまとめる問題が出題。文章全体の内容把握とともに、資料をもとにしてまとめる力が必要。説明文の最後の記号問題でも文章全体の内容把握が必要であった。また、毎年長文の記述が出題される。問題文中にある表現を抜き出しつなげるだけでなく、文章を読み取って理解した内容を自分の言葉で分かりやすく表現する力が問われる。

R6[2]

- 4 次は、授業で、ある生徒が本文の学習内容をまとめて発表した際の【スライドの一部】と【発表原稿】です。【スライドの一部】の内容を踏まえて、【発表原稿】の空欄に入る内容を六十五字以内で考えて書き、原稿を完成させなさい。

聞き手とはどのような存在か

考察1 聞き手行動の意味

考察2 日本語会話と
英語会話との比較

考察3 聞き手のもつ役割とは

【スライドの一部】

私は、この文章を読み、スライドに示した筆者の三つの考察を通じて、聞き手とは存在であると考えました。
私もこれから人の話を聞く時は、このことを意識して、「聞き上手」になりたいです。

【発表原稿】

長文記述問題。正答率は24.0%と昨年までと同様に難易度は高い。本文全体を踏まえたまとめが必要。傍線部の直前をまとめるだけでは解答として不十分であるため、資料をもとに論理的にまとめていく必要があった。

- ③ [3]の古文に関して、先生と生徒の会話文の空欄補充問題が出題されるため、読み取ったことを自分の言葉で的確に表現する力が必要。現代語訳ができなければ、解けない問題が多数出題。日頃から重要古語の暗記が必要。

R6[3]

- 4 次は、本文の内容をもとに先生と生徒が話し合っている場面です。[Ⅰ]～[Ⅲ]に適切な言葉を補い、会話を完成させなさい。ただし、[Ⅰ]には十五字以内でふさわしい内容を考えて書き、[Ⅱ]には本文中から十四字の言葉を抜き出して書き、[Ⅲ]にはあとの語群から最も適当なものを選び、記号で答えることとします。
- 先生「～次の【資料】は、その話の最後の場面を現代語訳したものです。」（中略）
- 生徒A「～国王は毎日の生活がつまらなくなっていて、禍というものが、いったい[Ⅰ]から手に入れようとしたんだね。」
- 生徒B「でも、まさか『[Ⅱ]』という命令を出したことで、最終的に国が滅んでしまうことになるなんて、国王は考えもしなかっただろうね。」
- 生徒A「つまり、国が滅んだのは、国王の[Ⅲ]行動が原因だと考えられるよね。」

鹿児島県の公立入試の古文で頻出の会話補充問題。正答率はⅠが53.5%、Ⅱが71.1%、Ⅲが81.9%と比較的解きやすい問題が多い。注意事項の言葉にまで注目して解くと良い。

【資料】
薪を積み上げて焼き殺そうとしたが、身体が火のように真っ赤になったかと思うと、走り出し、村に入っては村を焼き尽くし、市場に行つては市場を灰にし、城に入つては城を炎上させてしまった。こうして国中を走り回つては各地を大混乱に陥れ、人々は飢餓に苦しむ羽目になった。安穩な暮らしに飽きて「わざわざ」禍を買つたりするから、そのようなことになったのである。
（旧雑言・経全訳 壺の中の女）

- ④ [4]の小説文に関して、主人公の気持ちや行動の理由を問う問題が出題されるため、登場人物の行動から心情を読み取り、状況をおさえていく練習が必要。

R6[4]

- 3 次のア～ウの航大の行動や心情を、話の展開に沿って順番に並べ替えるのとどのようになりますか。ア、イ、ウを適切に並べ替えて書きなさい。
- ア 悪い想像を振り払えず不安そうな凜を刺激するような挑発的な言葉をあえて発することで、鼓舞しようとしている。
- イ 他人に優しく自分に厳しい性格のせいで悩む凜に対して、力になりたいと思っている。
- ウ くだらないやり取りに呆れつつも面白さを感じて心を開き始めた凜の背中を押そうとしている。
- 4 一線部③から読み取れるこの時の凜の様子について、ここに至るまでの経過を踏まえて五十五字以内で説明しなさい。

主人公の年齢は例年10代であり、受験生には読みやすい文章になっている。今年は初めて並べ替えの問題が出題された。正答率が20.1%と難しいものとなった。長文記述の出題もあり、正答率は25.7%と毎年難易度が高くなっている。

- ⑤ [5]の作文に関して、近年資料読み取りの問題が出題されるため、資料を読み取る速さ、自分の意見などをまとめる力が必要。

R6[5] 山田さんは、グループで話し合ったことを受けて「在留外国人が抱える課題に対して私たちにできること」というテーマで、クラスの生徒に向けて意見文を書くことにしました。あなたならどのように書きますか。あとの(1)～(4)の条件に従って書きなさい。

条件

- (1) 二段落で構成し、六行以上八行以下で書くこと。
- (2) 第一段落には【資料1】及び【資料2】から読み取ったことを書くこと。
- (3) 第二段落には、第一段落を踏まえて、在留外国人が抱える課題に対して私たちにできることを書くこと。
- (4) 原稿用紙の使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。ただし、資料を示す場合や、資料中の数値をそのまま使用する場合は、次の例にならって書くこと。

解答

H30より作文が別の大問になっていて、資料読み取りがある。今年度の正答率は53.4%と、昨年よりも高くなっていた。

- R6 [1] 2 十[画]
[2] 4 (例) 様々なシグナルを通して会話に積極的に関わり、話し手と相互にコミュニケーションを構築することで、人間関係の根幹を支え豊かにする
[3] 3 Ⅰ (例) どのようなものか見てみたかった Ⅱ 禍といふもの求めてまいらせよ Ⅲ ウ
[4] 3 イ→ウ→ア
4 (例) 部員の反発を恐れて自分の思いを伝えるかどうかを決められずにいたが、航大の励ましによって、迷いがなくなった様子。
[5] 省略

※解答は県発表の標準解答に拠る